

第4学年 国語科学習指導案

4年C組 29名
指導者 渡辺 早紀

1 単元名 とどけよう とっておきの「ごん日記」

『ごんぎつね』（光村図書 4年下）

2 指導にあたって

学習者は、1学期に学習した『白いぼうし』や『一つの花』において、場面と場面をつなげて読み、登場人物の人物像や心情、物語の展開などを捉える学習をしてきた。中心となる人物の会話文や心内語、行動描写などから人物について考えた。自分の考えを友達と伝え合う活動を繰り返し行っていくことで、進んで友達に自分の考えを伝えようとしたり、自分と友達の意見を比較しながら聞いたりする学習者が増えつつある。一方で、会話文や心内語などから登場人物の人物像や気持ちを考えることはできていても、行動描写や情景描写から気持ちを捉えることはまだ不十分である。そこで、本単元では、物語全体を通じて複数の叙述を結び付けることで、登場人物の気持ちの変化を読み味わわせる。そこから、感じたことを友達と伝え合うことで、より深い学びにつなげていきたいと考えた。

本単元で扱う『ごんぎつね』は、ひとりぼっちの小ぎつね「ごん」と母の死によってひとりぼっちになってしまった「兵十」が出てくる。ごんは自分のいたずらによって兵十の母が死んでしまったと思い、後悔する。なんとか罪を償い、兵十に許してもらえないかと、毎日兵十の家に行き、いろいろな食べ物を持って行くが、思いを直接伝えることができないまま、ごんは兵十に撃たれてしまう。本教材は、6場面構成されており、1から5の場面まではごんの視点で書かれている。そのため、ごんの心情やその変化が捉えやすく、場面の展開に沿って人物の気持ちを想像しながら読む力を育てるのにふさわしい作品である。また、6の場面では兵十の視点での描写が多く、両者の気持ちのすれ違いに気付きやすい。登場人物の心情が豊かな情景描写によっても表現されており、気持ちを考える上での手がかりとしていきたい。

本単元における学習者の活動目標は、「登場人物の気持ちや情景を想像して、『ごん日記』を書こう」である。『ごんぎつね』を読み、大体の内容を捉えるとともに、それぞれの場面での登場人物の気持ちやその変化について考える。毎時間の読み取りを基に、ごんの気持ちを想像して日記を書き残し、教材では描かれていない7の場面を加えて、「ごん日記」を仕上げる。日記はタブレットに残していき、他の学習者が書いている内容を見えるようにする。他の学習者の考えを参考にしたり、早く書き終わった学習者は自分の考えと比較しながら見たりすることができるため、個別最適な学びへの支援につながる。第一次では、物語の全文を読み、活動目標を明確にして、単元の計画を立てる。第二次では、登場人物の行動描写や情景描写から物語を読み深める。それぞれの場面で、具体的に想像したことや自分の考えを共有する際には、対話的な活動を豊富に取り入れることで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付き、学習者自身の考えを広げたり深めたりできるようにしたい。第三次では、これまで学習したことを基に「ごん日記」を仕上げ、互いの日記を友達と読み合う。協働的な学びを通して、多様な考え方に触れ、伝え合うことの楽しさや喜びを味わわせたい。さらに、図書室に掲示し、他学年にも読んでもらうという経験を通して、本単元の学習における達成感や満足感が得られるようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 活動目標 登場人物の気持ちや情景を想像して、「ごん日記」を書こう
(2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができるようにする。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	知識・技能 (1)オ
○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができるようにする。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	思考・判断・表現 C(1)カ
○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるようにする。	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	思考・判断・表現 C(1)エ
○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。	○進んで文章を読んで、感じたことや考えたことを共有し、学習活動に沿って、日記をまとめようとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想と評価計画

学習活動と学習者の意識 (全11時間)	主な指導・支援	評価規準
<p>事前 新美南吉さんの本を読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 新美南吉さんの作品は初めて読むから楽しみだな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> きつねが出てくるお話がいくつかあるね。似ているところはあるのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 教科書で紹介されている書き出しから興味があるものを選んで読んでみよう。 </div> </div>	<p>○ 町立図書館から借りてきた本をいつでも手に取れるよう準備し、意欲的に読書に取り組むことができるようにする。</p>	
<p>第一次 学習の見通しをもつ。・・・・・・・・・・2時間</p>		
<p>① 全文を読み、初発の感想を書く。</p>	<p>○ 物語を読む前に、題名やリード文などから物語を想像させ、興味・関心を膨らませる。</p>	<p>○ 学習の見通しをもち、進んで『ごんぎつね』を読もうとしている。(発言)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんは、いたずらばかりしていたけど、本当はいい子だと思うな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 最後にごんがしたことを知った兵十はどんな気持ちだったのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 最後の一文にある「青いけむり」について考えてみたいな。 </div> </div>	<p>○ 教師が作った日記を紹介することで、ゴールをイメージすることができるようにする。</p>	<p>○ 様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(ワークシート・発言)</p>
<p>② 学習計画を立てる。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 場面ごとに日記を書くと、気持ちの変化が分かりやすいね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 教科書の続きの話を考えて書くのが楽しみだな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 一文一文丁寧に読んで、ごんの気持ちを想像したいな。 </div> </div>		
<p>第二次 登場人物の気持ちの変化に着目しながら、『ごんぎつね』を読み、「ごん日記」を書く。・・・・・・・・・・6時間(本時4/6)</p>		
<p>① 1の場面を読み取って、「ごん日記」を書く。</p>	<p>○ 登場人物の行動描写や情景描写に着目して、ごんの気持ちを捉えられるようにする。</p>	<p>○ 叙述を基に、兵十にいたずらをするごんの気持ちを想像している。(ワークシート・発言)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんは、いつもいたずらばかりするから、村の人は困っていたらうね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 兵十は一生懸命捕まえたうなぎをごんにとられて腹が立っただらうね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんは、ずっとひとりぼっちで寂しかったんじゃないかな。 </div> </div>	<p>○ 登場人物の気持ちがよく表れている叙述に線を引くことで、根拠となる叙述を基にして発言できるようにする。</p>	<p>○ 叙述を基に、穴の中で兵十のことを考えるごんの気持ちを想像している。(ワークシート・発言)</p>
<p>② 2の場面を読み取って、「ごん日記」を書く。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> いたずら好きだったごんが、いたずらをしたことを後悔しているね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 踏み折られた彼岸花は、人々の悲しみを表現しているようだね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんの気持ちの変化はあったけど、兵十の気持ちの変化はどうだろう。 </div> </div>		
<p>③ 3の場面を読み取って、「ごん日記」を書く。</p>	<p>○ 二つの償いでの登場人物の行動の違いに表れた気持ちの変化が読み取れるようにする。</p>	<p>○ 叙述を基に、毎日兵十の家に食べ物を届けるごんの気持ちを想像している。(ワークシート・発言)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんには、ひとりぼっちのつらさが分かるから、兵十に優しくしたのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 兵十はいわし屋に酷い目にあわされて気の毒だな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんがくりに加えて、松たけまで持って行ったのはなぜだろう。 </div> </div>	<p>○ 兵十と加助の後をつけるごんの様子と神様の仕業と言われた時のごんの様子を比較して、気持ちの変化が読み取れるようにする。</p>	<p>○ 叙述を基に、兵十と加助の話の聞いたごんの気持ちを想像している。(ワークシート・発言)</p>
<p>④ 4・5の場面を読み取って、「ごん日記」を書く。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんは、兵十と加助がどんな話をしているのか、気になってずっと後をつけているんだね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんのことを兵十はすっかり神様の仕業だと思いつついるようだね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんは、自分の償いのことを兵十にも気付いてほしかったんだな。 </div> </div>	<p>○ 場面の中心となる人物が変わったことに気付けるようにする。</p>	<p>○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(ワークシート・発言)</p>
<p>⑤ 6の場面を読み取って、「ごん日記」を書く。</p>	<p>○ 登場人物の発する言葉の違いからも気持ちが想像できることに気付かせる。</p>	<p>○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(ワークシート・発言)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 兵十は、ごんがまたいたずらをしに来たと思って火縄銃を撃ったんだらうね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 兵十はこの場面で初めてごんの名前を言ってるね。気持ちの変化があったのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 最後の一文の「青いけむり」は、兵十の悲しい気持ちを表現しているようだね。 </div> </div>		
<p>⑥ 7の場面を想像し、「ごん日記」を書く。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんの償いの気持ちは兵十に届いただらうな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 火縄銃で撃たれたごんは、このまま死んでしまったのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ごんはきっと、兵十とも友達にならなかったのだらうな。 </div> </div>		
<p>第三次 「ごん日記」を仕上げる。・・・・・・・・・・3時間</p>		
<p>①② これまで学習したことを基に「ごん日記」を仕上げる。</p>	<p>○ これまでに学習してきたことを基に、「ごん日記」を仕上げるができるようにする。</p>	<p>○ 進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、「ごん日記」にまとめようとしている。(作品、発言、観察)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 6の場面で、火縄銃をばたきと取り落とした兵十の気持ちから、表情を想像してみよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 7の場面の日記には、加助にごんのことを話す兵十の姿を空から見ているごんの絵を描くよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 他の学年の人も読みたくなるような「ごん日記」を書きたいな。どんな題名がいいかな。 </div> </div>	<p>○ 「ごん日記」を読み合って、よさを見付けたり、共通点や相違点を見付けたりできるようにする。</p>	
<p>③ 「ごん日記」を読み合い、感想を伝え合う。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 7の場面の日記には、生きているごんの姿を書いている人もいるね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 6の場面のごんが幸せだったと考えた人も、そうでないと考えた人もいるね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 物語を読んで感じたことは人それぞれだね。 </div> </div>		

新美南吉さんの作品を並行読書

5 本時の学習

(1) 本時の指導について

学習者はこれまでの学習で、場面ごとに本文の叙述でごんの気持ちを想像し、友達と伝え合ってきた。それを基に、毎時間「ごん日記」を書く活動を繰り返してきている。本時は、4・5の場面から、兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを読み取る。想像したごんの気持ちや自分の考えを友達と共有し、学習の振り返りとして、「ごん日記」を書く。対話的な活動を多く取り入れ、自分と友達の意見とを比較しながら聞くことで、自分自身の考えを広げたり、さらに深めたりすることができるようにしたい。

(2) 目標

① 活動目標

兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを考え、「ごん日記」を書こう。

② 指導目標

友達と意見を伝え合うことを通して、本文の叙述から登場人物の気持ちを想像することができるようにする。

(3) 展開

学習活動	主な指導・支援	具体の評価規準
1 本時のめあてをつかむ。 兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを考え、「ごん日記」を書こう。	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむことができるようにする。 ○前時までの板書を振り返ることで、本時の学習について、想起しやすいようにする。	
2 4・5の場面を読み、ごんの気持ちがよく表れている叙述を見付ける。	2 登場人物の行動描写や情景描写に着目して、ごんの気持ちを捉えられるようにする。 ○指導者の範読を聞かせ、ごんの気持ちになって、兵十と加助の会話を聞くことができるようにする。 ○気持ちがよく表れている叙述に線を引くことで、ごんの気持ちを捉えやすくする。	
3 叙述から読み取ったごんの気持ちを考え、伝え合う。	3 登場人物の会話や行動描写、そこから考えたごんの気持ちを全体で共有できるよう、整理しながら板書する。 ○友達と考えを伝え合うことで、一人一人の感じ方の違いや共通点に気づき、認め合えるようにする。	叙述を基に、兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを想像している。 (ワークシート・発言)
4 本時の学習を振り返り、「ごん日記」を書く。	4 本文の叙述を基に、「ごん日記」を書くことができるようにする。 ○考えをまとめることが困難な学習者には、友達の考えを参考にしてもよいことを伝える。	

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	本文の叙述から登場人物の気持ちを想像し、友達の意見と自分の意見を比較しながら発言したり、聞いたりしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	言葉の意味を説明したり、教科書の挿絵を参考にしたりしながら場面の様子がイメージできるように支援する。